



子どもの姿をみつめて

今年は暖冬と言われ、例年の厳しい寒さをあまり感じることなく過ごしています。それでも、吐く息が白く見えることを不思議だなあと思ったり、寒くても園庭でマラソンや縄跳びをするうちに身体が温まることを体験することで、冬の自然に触れたり感じたりしています。

1歳児クラスの部屋でのこと。保育者とのやりとりを楽しみながら遊んでいたAちゃんは、泣きながら登園してきた友だちに気がつき「Bくん、ないてるよ。」と眉をしかめ、悲しそうな表情で保育者に告げ、「なかないで」と声をかけていました。0歳のころから大人に優しく語りかけてもらい、しっかり気持ちを汲み取ってもらっている経験があるから、友だちを心配する気持ちを自然に言葉で表現しているのです。語彙が豊富であることだけに着目するのではなく、「何を感じているのかな」など子どもたちの心の動きに気持ちを向けていきたいと思います。

ごっこあそびをしている時、子どもたちの会話に耳を傾けてみると、家庭での様子が垣間見られるものだったり、保育者の口調に似ていてドキッとしたり…。最近では、言葉を伝えるツールとして、スマートフォンなどを使うことが増えていますが、モデルとなる大人が言葉で伝える大切さや楽しさなどを感じられるように、一人ひとりに合わせた対話をしていくことが大切です。

また、乳幼児期は自分の思いが通らないと泣いたり、怒ったり、反抗したりする時期です。その時期に自分の感情を素直に出せる場所が保育園や家庭の中にあることが、将来、子どもたちがい



「おいしいよ
どうぞ」
ごっこあそびの中での子どもたちのつづきに
ほっこり

ろいろな選択肢の中から主体的に選び取り、伸び伸びと生きていく土台を作るのだと思います。

さて、進級、就学を控えた子どもたちは、ワクワクする期待と、ときどきするちょっぴり不安な気持ちが入り交じり、期待と不安の中で落ち着かないこともあるかと思いますが子どもたちは、生活やあそびの中で「やってみよう」「できたね」という成功体験を積み重ねることで自信につながっていきます。また、家庭でしかできない「早寝、早起き、朝ごはん」など生活リズムを整えることは、保育園や学校での生活を心地よくスムーズに送るためには大事なポイントになり、子どもたちが自分で気持ちを切り替える力をつけていくことにつながっていきます。

大人の私たちは子どもたちが困らないように、先へ先へと準備をするのではなく、「どうしたらいいかな」「なにがいるのかな」など子どもたちと一緒に準備をすすめていくことで気づく力、思考力を深め、学びに向かう力を育むこととなります。子どもを信じて「待つ」ことも大人の大事な役割ですね。

就学間近となった年長すみれ組さんは、段原小学校に行き、交流会に参加します。一年生の授業を見学し、グループに分かれて、五年生のお兄さんお姉さんと自己紹介をして親しみを持ったり、広い校庭で鬼ごっこなどをして交流を深めます。「小学校ってどんなところなんだろう」など見通しの持たないことへの不安が少しでもなくなり、「小学校ってたのしそう」と期待感に胸を膨らませることと思います。この体験を通して、困難なことにぶつかっても支えてくれる人がいることを実感しながら、様々なことに取り組み、いろいろなことを身につけていく力を習得して行ってほしいと思います。

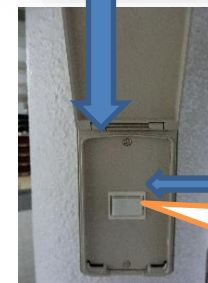
二月に入ると早速、子どもたちが楽しみにしている「豆まき」があります。思いおもいに制作した鬼のお面で保育園にやってくる「鬼」と対面します。自分の中にいる鬼を追い払い、一年間、心も体も元気で過ごしたいものです。

園長

門の施錠について

門の施錠が電磁ロックとなりました。施錠されている場合はインターホンを押して声をおかけください。また、園外に出る際は、らせん階段昇り口の左手の柱に取り付けてあるボタンを押して出てください。

【園内から解錠する場合】



【玄関が施錠されている場合】

インターホンをならしてお話しください



このボタンを押してください
お子さんが触らないようにお願いします

野菜を収穫しました！



園庭で育った大根、白菜は年長児と一緒に漬物やシチューなどクッキングをしていただきました



収穫することで野菜への興味関心が広がり「だいこんすきじゃない」と言いながらも「おいしい！たべれた」と笑顔を見せてくれました。

まめまき



節分とは、もともと季節の変わり目で立春・立夏・立秋・立冬の前日のことを言います。暦の上では、春から新しい年が始まったため、いつの頃からか立春の前日だけが節分となり、春への折り返しとして3日ごろに行われています。神社や寺では、面を付けた鬼に向かって豆をまいて退散させる追儺(ついな)や年男たちが豆をまくところもあります。豆には、穀物の霊が宿っていると考えられていたからです。

鰯の頭を家の入り口に刺したり、柵の木の枝を刺したりするのは、鬼は鰯が嫌いなので逃げていくため、柵は、枝にとげがあるので鬼が恐れているからだと言われています。

参照：なるほど行事ブック

保護者アンケートについて

お忙しい中、保護者アンケートのご記入、回収にご協力いただきありがとうございました。



備えて安心！
住宅用消火器